



e-ニュースレター

2019年3月号 (抄訳)



ゾンシャンと友人の皆様：

ニューヨークの女性の地位委員会（CSW）第63回会合から、こんにちは。

国連の持続する開発目標、特に目標5（ジェンダーの平等）に取り組む9千人の女性と男性が集う此处、ニューヨークの国連にいることの素晴らしさを感じます。23の地区からゾンシャン110人が出席し、ゾンタの組織をあげての呼びかけ「児童婚をやめさせよう！」がCSW全体に確かに届くよう動いています。今のところ、今週のハイライトとなっているのは、国際ゾンタの児童婚セミナー、米国ユニセフと私たちのパネル・ディスカッション、及び、初のゾンタ若者オブザーバー・アイシャの参加などです。これらについての詳細は下記でお読みください。又、アイシャのブログのリンクも示します。

Luana Pereira

国際会長

スザンヌ・フォン・バセヴィッツ

ゾンタの児童婚セミナーが作る CSW の雰囲気

女性の地位委員会第 63 回会合初日の夕方、ゾンシャン 70 人ほどが、米国ユニセフ事務所に集まり、「国際ゾンタ児童婚セミナー」を開き、この分野のエキスパートたちの話を聞きました。一人は、ナンカリ・マクスッドさんで、彼女はユニセフの「危険な風習に対する」上級アドバイザー、及び、ユニセフ/国連人口活動基金の地球規模のプログラム「児童婚を終わらせる活動を促進する」のコーディネーターです。このプログラムはゾンタも支援し、2 万 US ドルを寄付しています。もう一人のエキスパートは、ドラジカ・ミカヴィカさんで、ニューヨークの国連アドボカシー事務所にある「児童を救おう」運動の上級アドボカシー・アドバイザーです。



ユニセフの「児童婚を終わらせる地球規模のプログラム」についての講演では、2018 年中の歩み、及び 2019 年以降の計画が説明されました。一方、討論の場では、さまざま重複する児童婚の原因と結果に光を当てました。出席者たちは、続く 1 週間に向けて元気をもらい、児童婚を終わらせる国際ゾンタの呼びかけの裏付けとなる情報を手にして、セミナー会場を後にしました。



ジェンダーの平等を達成する鍵となるのはパートナーとの協力

国際ゾンタが行なった最初の CSW 公式イベントでは、私たちのプログラム目標を達成し女性と女兒の生活にポジティブな変化をもたらすためには、パートナーとの協力関係が重要であることが強調されました。パネル・ディスカッションで、国際会長スザンヌ・フォン・バセヴィッツに加わったのは、この 4 人でした：

- スーザン・フィンデル、慈善家で、ユニセフのプロジェクト「勉強しよう」の設立出資者；
- ケイトゥリン・マッカム、ユニセフ地球規模プログラムの副ディレクター；
- ヴィーナ・カンケ、「女性の食事のための補助金とパートナー協力」プログラムのディレクター；
- アイシャ・エマーソン、CSW へのゾンタ若者オブザーバー。

マダガスカルにおけるプログラム「勉強しよう」が、国連機関、政府、NGO、及び個人寄付者を結ぶ事に成功し、最も目の届きにくい子供たち（特に学校に通えない女の子たち）の利益となるプログラムとして、脚光を浴びました。

2016 年以来、このプロジェクトに国際ゾンタは総計 200 万 US ドルを寄付してきました。そして、嬉しいことに、スーザン・フィンデルがパネルに加わり、「勉強しよう」プログラムの発足について語り、マダ

スカル及びその他の4か国での彼女の経験を語ってくれたのです。

国際ゾンタ会長スザンヌは、協力して働くことの大切さを強調し、出席者たちを評価しました。

「ここにご出席の女性の方々に熱意を感じます。私たちが行なっていることが、チェンジ・メーカー（変革者たち）を支援していると確信します」と彼女は言いました。

マダガスカルプログラム「勉強しよう」について詳しくは、こちらから [Learn more about Let Us Learn Madagascar](#)。

又、4月にゾンタ会員4人がマダガスカルを訪れるので、現地からの続報をご覧ください。

ゾンタの若者オブザーバーが、CSWに出席した1週間の見聞を語る

2018年度YWPA（公共事業に働く女性達）賞の受賞者、アイシャ・エマーソンは、初めてのゾンタ若者オブザーバーとして、ニューヨークの女性の地位委員会第63回会合に出席しました。



アイシャは、影響力のある若い仲間たちとともにイベントに参加し、子供時代に結婚させられた若い女性達と仕事をした経験を語りました。彼女は他の様々な会合にも出席しました。

アイシャのブログからの抜粋を下記に示します。

そして更にCSW63についても、下記（オレンジ色の枠）をクリックしてお読みください

「セキュリティ・スキャナーと係員たちのジャングル、ピカピカの廊下を動く人たちと外国語の響き、そして、あちこちに飾られた国旗とアートの前を通り抜けて国連の構内に入った時、空港にいるような独特の空気を感じました。期待感が胸にわき、国際的な世界に踏み入れるのだと感じました。

自分が此处——地球規模の変化の出発点——に立っていることが信じられませんでした」

— アイシャ・エマーソン、ゾンタの若者オブザーバーとしてCSWに参加して

[Read more on the blog](#)

活動するゾンシャンたち

(投稿を勧める文章) (毎月類似の文章なので、翻訳を省略)

ポタニー・ベイ ZC とコロombo ZC

24 地区のポタニー・ベイ ZC と 25 地区のコロンボ ZC のゾンシャン達と一緒に、スリランカの看護師たちのために 2 日間にわたるトレーニング・ワークショップを開催しました。テーマは「女性の健康維持 (乳がんについて)」でした。



[詳しくはこちらから](#)

Share Your Story



www.zonta.org

STAY CONNECTED

